

ほほえみ通信

vol.51
冬春号

西宮協立デイケアセンター ほほえみ
西宮市津門呉羽町10-13
tel.0798-36-6780 fax.0798-36-6766

西宮協立デイケアセンター 第2 ほほえみ
西宮市津門呉羽町9-10 1F
tel.0798-33-3501 fax.0798-33-3502

2021年2月22日発行



目標をもってリハビリに取り組みましょう

リハビリテーション計画書の見方

「目標」の部分

デイケアは、「自分はこうなりたい!」「これをやってみよう!」という自己実現に向け、利用者さま、ご家族と共にお体や生活に合わせた目標を立て、個別に作成したリハビリプログラムを、達成までの期限を決めて集中的に行っています。リハビリテーション計画書には、利用者さまの抱える課題やリハビリ目標、達成までの期間、達成するための練習メニューなどについて詳しく書かれています。今回はリハビリテーション計画書にある「目標」部分の見方を紹介します。

3. 具体的な支援内容

目標に向かって実際にどんなリハビリを、どんな段取りで行うか書かれています。必要な方は、福祉用具の提案や介助指導なども書かれていますのでご参考ください。

5. 訪問の必要性

専門職が自宅を訪問し、環境のチェックやアドバイスの必要性について記載。

■リハビリテーション計画 リハビリテーションマネジメント

目標(課題)	期間	具体的支援内容 (何を目的に(～のために)～をする)	通所頻度(週 回)	利用時間(時間)	訪問の必要性
トイレにて自分でズボンの上げ下ろしができる。	3ヶ月	・理学療法 ・作業療法	立位バランス練習 家族への介助指導	週2回 40分	必要に応じて

1. 目標

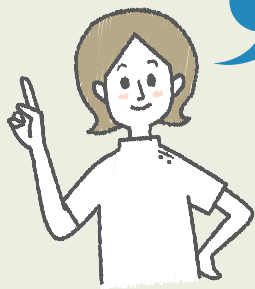
利用者さまの状態や希望に沿った「生活のなかでの目標」を分かりやすく具体的に記載。

2. 期間

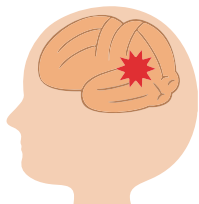
目標達成にかかる期間の目安です。

4. 頻度、時間

リハビリする回数と所要時間



『意欲・発動性の低下』について



高次脳機能障害とは、脳卒中などの原因で脳が部分的に損傷し、言語、思考、記憶、行為、学習、注意などの機能に障害が起こった状態のことです。高次脳機能障害にはさまざまな種類と症状があり、対応方法も異なります。今回は、高次脳機能障害の1つ “**意欲・発動性の低下**” についてご紹介します。

意欲・発動性の低下のサインは分かりにくい！

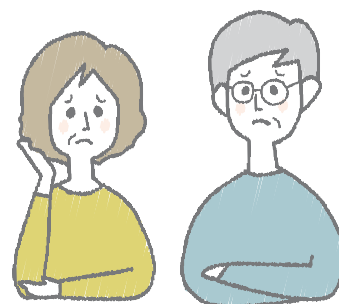
病気をする前と比べて……

「元気がなくなった」

「何に対してもやる気がなくなった」

…… 気がする

Why?



このような症状は「意欲・発動性の低下」のサインです。
病気以前と同じような行動がむずかしくなります。



言語聴覚士 | 大石 祐也

脳卒中などで脳を損傷すると、元気が無くなったり、何もしようとしなくなったりすることがあります。このような、意欲を失ったように見える症状も高次脳機能障害のひとつです。これは脳損傷によって、話す・動く・考えるなどの行動を、自分から始めることが出来なくなった状態だと考えられます。

ご本人との関わり方を見つめ直してみましょう！



ご本人は「何もしたくない」と思っているわけではありません。何も始められない、意欲がわからないといった症状は、本人の心掛けのみではなかなか改善しません。やりたくてもできないのだと理解し、本人のやる気を引き出す働きかけが必要です。具体的に、1日の行動チェックリスト（着替えをする、顔を洗う、買い物に行く、皿洗いをするなど）を作成し、できた行動にチェックを付け成功体験を積み重ねてゆく方法が効果的です。初めは少ないチェック項目から開始し、徐々に活動量を増やすようにするとよいでしょう。